

登録No. S-018  
 登録名 Weekly Paclitaxel療法  
 催吐性リスク 軽度  
 適応疾患 胃癌・乳癌・甲状腺未分化癌  
 投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	ファモチジン デキサメタゾン ルイ酸カルフェラミン 生食	20mg/body 6.6mg/body 5mg/body 100mL/body		d1・8・15	d.i.v.	30min	前投薬
Rp.2	パクリタキセル 生食	80mg/m <sup>2</sup> 250mL/body		d1・8・15	d.i.v.	1hr	前投薬30分後より投与開始 粘調度高いため、輸液総量の 1.5倍量をDrip-eyeに設定

1クールの間 4週間  
 その他（副作用・PS規定等）

パクリタキセル投与前H<sub>2</sub>blocker、デキサメタゾン、ルイ酸カルフェラミン投与  
 副作用：骨髄抑制、心毒性、神経毒性  
 パクリタキセル初回投与時、心電図モニター  
 メンブランフィルター（0.22μm）付きDEHPfreeの輸液セットを用いて投与。  
 PS2まで  
 乳癌 ドーズダウン規定：WBC2000/mm<sup>3</sup>未満、好中球1000/mm<sup>3</sup>未満、Hb低下→中止し次回減量を考慮。